

初めてレポートを書かれる方・
書き方に不安がある方へ

レポートの 書き方資料

第2版



中央大学ライティング・ラボ



目次

1. レポート・論文のレイアウト.....	- 1 -
2. 序論・本論・結論.....	- 4 -
3. パラグラフ・ライティング.....	- 7 -
4. 引用のマナー.....	- 10 -
5. 図表の扱い方.....	- 15 -
6. 一文一義.....	- 19 -
7. 感想文からの脱却.....	- 23 -

中央大学ライティング・ラボ マスコットキャラクター



レポートの書き方資料 第2版

編集・発行 中央大学アカデミック・サポートセンター ライティング・ラボ

〒192-0393

東京都八王子市東中野 742-1

FOREST GATEWAY CHUO 5階

https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/learning_space/writinglab/

発行日 2021年9月1日 初版発行

2025年4月1日 第2版発行

資料を読む前に…

この資料を見れば大学のレポートも
論文も全部ばっちりだぜ！

ちょいまち



この資料で書かれていることは
一般的な学術的文章の書き方です
学問分野によって書き方が異なる部分も
あるので、その場合は担当教員の指示や
執筆要綱などのルールに従ってくださいね



とくに引用や参考文献の書き方は
分野によって大きく変わることがあるよ
心配なときは専攻の先生に確認するか、同じ
分野の人が書いた論文を参考にすると良いよ～



◇この資料の引用や参考文献の書き方は、アメリカ心理学会が定めた学術論文の書式「APA Style 7th Edition」に従って作成しました
社会科学分野や研究論文の出版業界などで広く使われているスタイルです

1. レポート・論文のレイアウト

□ 学術的文章のレイアウトとは

レイアウトとは、余白、行間、図表、フォントの大小などを効果的に配置することである。レポート・論文の基本構成は「**表紙・序論・本論・結論・参考文献リスト**」の 5 項目である。レポート・論文はこれらの項目ごとにレイアウトが定められている。

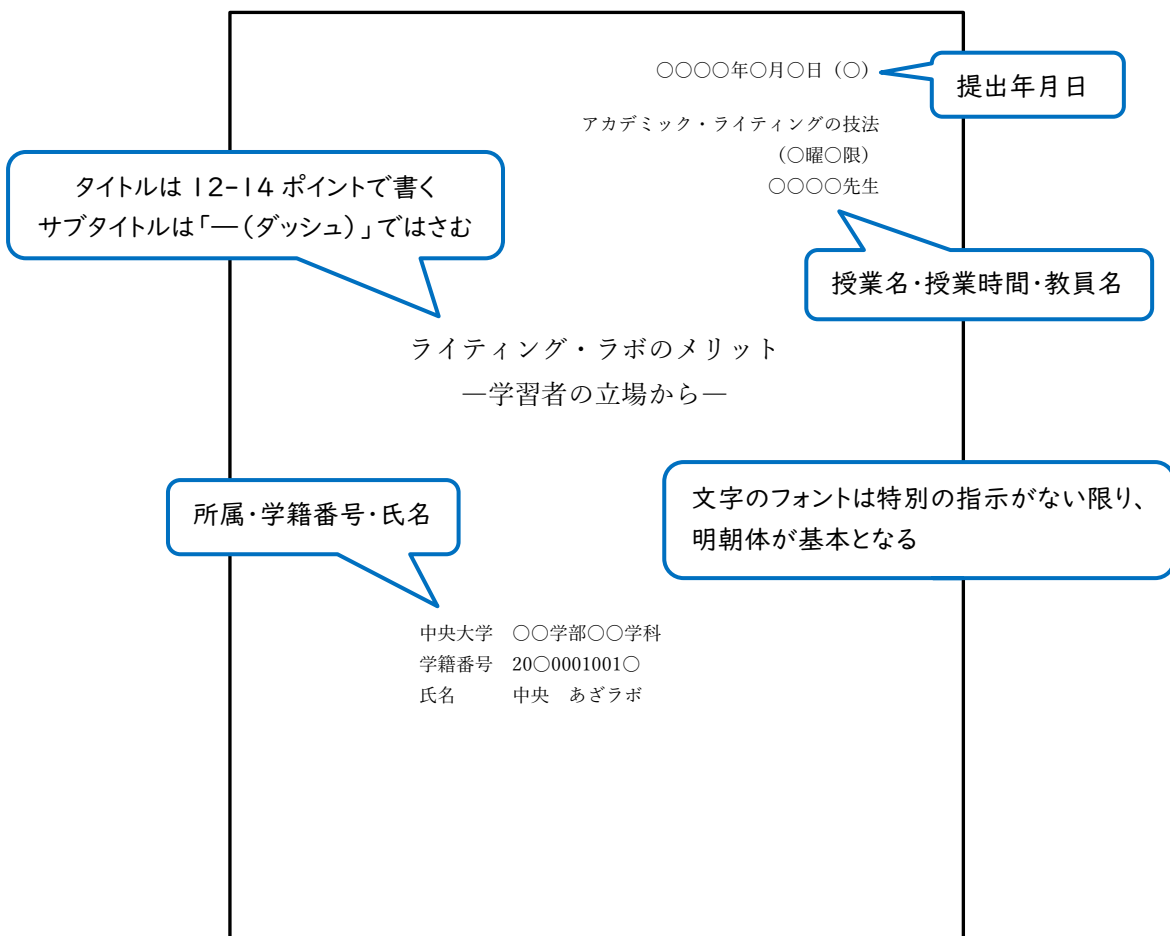
□ レイアウトが重要な理由

レイアウトを工夫することで読みやすさを向上させることができる。学術的文章を書く際には読み手の立場に立つことが大切で、中身を深く読んでもらうためには読みやすさが必要である。

□ 表紙のレイアウト

表紙には、レポート・論文の基本情報を書く。ただし、表紙が不要な場合もある。

表紙のレイアウト例



表紙が必要ない場合のレイアウト例


授業名 アカデミック・ライティングの技法	タイトルは12ポイントで書く サブタイトルは「—(ダッシュ)」ではさむ
ライティング・ラボのメリット —学習者の立場から—	
提出年月日 所属 学籍番号・氏名	〇〇〇〇年〇月〇日(〇) 中央大学 〇〇学部〇〇学科 20〇〇001001〇 中央 あざラボ
1. はじめに 中央大学アカデミック…本文続く…	

□序論・本論・結論・参考文献のレイアウト

見出しを設けたり、ページ数を示したりすることでも読みやすくなる。また、可読性の高いフォントや文字サイズを選ぶなど工夫できることは多い。

序論・本論・結論・参考文献のレイアウト例

1. はじめに	大見出し:12ポイント	本文:10.5ポイント	序論
中央大学のライティング・ラボは、アカデミック・ライティングに関する能力の涵養や学術的文章作成の支援を行う目的で2011年度に設置された学習支援機関である(中央大学、2022)。だが、学生の視点に立った場合、ラボを利用することが本当にレポート・論文の作成に有益となるかどうか不安に感じることも考えられる。そこで、本稿では学生がレポート・論文の作成においてライティング・ラボを利用するメリットについて検討する。			
2. ライティング・ラボ利用のメリット	1行分あける		本論
ライティング・ラボを利用するメリットは主に2つある。以下に、それぞれのメリットについて述べる。			
2.1 アカデミック・ライティングの観点を習得	小見出し:11ポイント		
レポート・論文はアカデミック・ライティングの観点に従って作成することになっている。観念の具体例として、序論・本論・結論の三部構成を取ることや、引用した文献は全てリスト化して文末に挿入することなどがある。しかし、全ての学生がこれらの観点に従って作成するというを知っているわけではない。なぜなら大学入学に至るまでの教育環境、			
1	ページ番号		



25~35mm
(Word における「標準」相当)

Word における「標準」相当

25~35mm

あるいは入学後の履修環境次第ではこれらの観点について知る機会が全く無いという場合もあり得るからである。実際に、ライティング・ラボの利用者の中にはこれらの観点の存在について知らなかったという学生が少なくない。すなわち、これらの観点について知らないままレポート・論文の課題に取り組み、結果としてどう書くべきか迷う学生が存在している。そこで、ライティング・ラボではアカデミック・ライティングに精通するチューターによるセッションを通して、これらの観点を学習者自身が習得できる環境を整えている。このように、仮に学生がレポート・論文の書き方を知らない場合でも、ラボを利用することでアカデミック・ライティングの観点を習得できるというメリットがある。

2.2 文章をフィードバックしてもらう機会の確保

レポート課題において、主な読み手である担当教員からフィードバックを得られない場合がある。その理由として、大学教員は短期間にたくさんのレポート・論文を評価しなければならず、時間の制約上個別対応が困難であることなどが挙げられる。そのため、担当教員の対応だけでは学生が自分の主張が読み手に伝わるかどうかを確認したり、問題意識を掘り下げたりする機会を十分確保できないという状況が起こり得る。そこで、ライティング・ラボではチューターとのセッションを通して、読み手に主張が伝わるかどうか、そして問題意識の掘り下げが十分かどうかを検討できる環境を整えている。ライティング・ラボを利用することで文章をフィードバックしてもらう機会を得られるというメリットがある。

3. 結論

本稿では、学生がレポート・論文の作成においてライティング・ラボを利用するメリットについて検討した。その結果、ラボを利用することでアカデミック・ライティングの観点を習得できることと、自分の文章をフィードバックしてもらう機会を確保できることという2つのメリットについて改めて確認できた。このように、中央大学の学生がライティング・ラボを利用することで、学術的文章の作成過程で質の高い支援が得られ、読み手に伝わりやすい文章を書く能力の涵養が期待できる。

参考文献

中央大学 (2022). 「学生サポート 中央大学アカデミック・サポートセンター ライティング・ラボ」. 最終閲覧日 2025 年 2 月 1 日, https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/learning_space/writinglab/

Word における「標準」相当

25~35mm

Word における「標準」相当

25~35mm


Word における「標準」相当

25~35mm

本論

結論

参考文献



25~35mm
(Word における「標準」相当)

2

ページ番号

◇さらに知りたい読者のために

- 石井一成 (2011). 『ゼロからわかる 大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社.
- 石井一成 (2022). 『超図解 レポート・論文術』日本文芸社.
- 井下千以子 (2019). 『思考を鍛えるレポート・論文作成法 [第3版]』慶應義塾大学出版会.
- 佐藤望編著 (2006). 『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門—』慶應義塾大学出版会.
- 佐渡島沙織 (2022). 『課題に応える 卒論に活かせる 大学生のためのレポートの書き方』ナツメ社.

2. 序論・本論・結論

□序論・本論・結論とは

レポートや論文などの学術的文章は、序論・本論・結論の3つに大きく分かれています。

序論には、レポートや論文の問い、目的、研究の背景などを書く。レポートや論文の問いに答えたり、目的を遂行したりするために、論ずる分野や範囲を限定し、どのような手法を使うのか、どのような資料やデータを用いるかを示す。また、本論の構成を紹介する場合もある。つまり、序論では文章の内容全体を予告する。

本論では、序論で述べた問いと目的に対して、複数の章や節で答えに至るべく議論を展開する。章や節の数は、論じる内容の整理の仕方によって異なる。

結論では、本論の内容を要約し、序論で提起した問いの答えを簡潔に書く。論文では、その研究の限界や今後の研究に向けての展望を付け加える場合もある。

このように学術的文章を書く上では、序論で予告した内容を本論で詳しく論じ、さらに結論でもう一度おさらいすることが求められる。



序論・本論・結論
それぞれの役割を確認しよう！

□序論・本論・結論の構成で書く理由

序論・本論・結論の構成で書くことで内容を正確に理解しようとする読み手の認知的負荷を軽減でき、内容を理解しやすくなるからである。

序論には問いと目的を書き、結論には答えを書く。この構成を守ると、どこに問いと答えが書かれているのか、その問いと答えは合っているのかなどを読み手も確認しやすい文章になる。

言い換えれば、文章が何について着目し(序論)、どのような根拠をもとに(本論)、どのような主張をしているか(結論)、読み手はその流れに沿って内容を検討することができる。



何を言いたいのか
わからないよ～

俺がこう思う
からこう!!



□序論・本論・結論で書かために

序論・本論・結論の文章量の目安

下のように、序論 10%、本論 80%、結論 10%程度のバランスで書くことが一般的である。

ライティング・ラボのメリット

中央大学のライティング・ラボは、学術的文章の作成を支援する機関である。本稿では学生がレポートの作成においてライティング・ラボを利用するメリットは何かを論じる。

序論：10%程度

レポートはアカデミック・ライティングの観点に従って作成すべきである。しかし、全ての学生がアカデミック・ライティングの観点の存在を知っているわけではない。なぜなら、大学入学に至るまでの教育環境、あるいは入学後の履修環境次第ではこれらの観点について知る機会が全く無いという場合もあり得るからである。実際に、ライティング・ラボの利用者の中にはこれらの観点の存在について知らなかったという例が数多く報告されている。そこで、ライティング・ラボではアカデミック・ライティングに精通するチューターによるセッションを通して、これらの観点を学習者自身が習得できる環境を整えている。仮に学生がレポート・論文の書き方を知らない場合でも、ラボを利用することでアカデミック・ライティングの観点を習得できるというメリットがある。

本論：80%程度

レポート課題において、主な読み手である担当教員からフィードバックを得られない場合がある。その理由として、大学教員は短期間にたくさんのレポート・論文を評価しなければならず、時間の制約上個別対応が困難であることなどが挙げられる。そのため、担当教員の対応だけでは学生が自分の主張が読み手に伝わるかどうかを確認したり、問題意識を掘り下げたりする機会を十分確保できないという状況が起こり得る。そこで、ライティング・ラボではチューターとのセッションを通して、読み手に主張が伝わるかどうか、そして問題意識の掘り下げが十分かどうかを検討できる環境を整えている。ライティング・ラボを利用することで文章をフィードバックしてもらう機会を得られるというメリットがある。

本稿では、レポートの作成においてライティング・ラボを利用するメリットとして、アカデミック・ライティングの観点を習得できることと、自分の文章をフィードバックしてもらう機会を得られることの2点を論じた。

結論：10%程度



「問いを示す（序論）→
議論を展開する（本論）→
問いの答えを示す（結論）」
という流れを意識しよう！

序論の書き方の例

中央大学のライティング・ラボは、学術的文章の作成を支援する機関である。本稿では学生がレポートの作成においてライティング・ラボを利用するメリットは何かを論じる。

1 文目…研究の背景

2 文目…研究の問い・目的

本論の書き方の例

序論で提示した問い「学生がレポートの執筆においてライティング・ラボを利用するメリットは何か」を本論で解決する。

レポートはアカデミック・ライティングの観点に従って作成すべきである。しかし、全ての学生がアカデミック・ライティングの観点の存在を知っているわけではない。なぜなら、大学入学に至るまでの教育環境、あるいは入学後の履修環境次第ではこれらの観点について知る機会が全く無いという場合もあり得るからである。実際に、ライティング・ラボの利用者の中にはこれらの観点の存在について知らなかったという例が数多く報告されている。そこで、ライティング・ラボではアカデミック・ライティングに精通するチューターによるセッションを通して、これらの観点を学習者自身が習得できる環境を整えている。仮に学生がレポート・論文の書き方を知らない場合でも、ラボを利用することでアカデミック・ライティングの観点を習得できるというメリットがある。

本論①
アカデミック・ライティングの
観点を習得できる

レポート課題において、主な読み手である担当教員からフィードバックを得られない場合がある。その理由として、大学教員は短期間にたくさんのレポート・論文を評価しなければならず、時間の制約上個別対応が困難であることなどが挙げられる。そのため、担当教員の対応だけでは学生が自分の主張が読み手に伝わるかどうかを確認したり、問題意識を掘り下げたりする機会を十分確保できないという状況が起こり得る。そこで、ライティング・ラボではチューターとのセッションを通して、読み手に主張が伝わるかどうか、そして問題意識の掘り下げが十分かどうかを検討できる環境を整えている。ライティング・ラボを利用することで文章をフィードバックしてもらい機会を得られるというメリットがある。

本論②
自らの文章をフィードバック
してもらい機会が得られる

結論の書き方の例

…レポートの作成においてライティング・ラボを利用するメリットとして、アカデミック・ライティングの観点を習得できると、自分の文章をフィードバックしてもらい機会が得られることの2点を論じた。

序論の問い・目的と合っている
本論①②の要約になっている

◇さらに知りたい読者のために

- 石井一成 (2011). 『ゼロからわかる 大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社.
- 石黒圭 (2024). 『この1冊できちんと書ける! 【新版】論文・レポートの基本』日本実業出版社.
- 河野哲也 (2018). 『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶應義塾大学出版会.
- 酒井浩二 (2009). 『論理性を鍛えるレポートの書き方』ナカニシヤ出版.
- 佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄編著 (2015). 『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド—大学生・大学院生のための自己点検法 29—』大修館書店.

3. パラグラフ・ライティング

□パラグラフ・ライティングとは

パラグラフ・ライティングとは、パラグラフを積み重ねて文章を構成する書き方のことである。

パラグラフは、1つの**中心文** (topic sentence) とそれを支える**支持文** (supporting sentences) で構成する。中心文は、当該パラグラフにおいて最も主張したい内容を述べた1文である。支持文は、中心文の内容に対する根拠、説明、具体例などを述べた文である。したがって、1つのパラグラフでは1つの話題 (topic) を取りあげることになる。

□パラグラフ・ライティングで書く理由

書き手にも読み手にもわかりやすい文章になるからである。具体的には、

- ①書き手が言いたいことを整理でき、読み手に文意が伝わりやすい文章にできる。
- ②書き手にとって、内容を過不足なく書くことが容易になる。
- ③読み手にとって、中心文を追うことで文章全体の構造や論理展開が把握しやすくなる。

□パラグラフ・ライティングをするために

①パラグラフを**中心文**と**支持文**で構成する

中心文を補強するように、中心文の論点に関わる支持文を書く。パラグラフの構成は、中心文をどこに書くかによって「頭括」、「両括」、「尾括」の3種類に大別できる (図1)。分野やレポートの種類にもよるが、学術的文章では頭括が最もよく用いられる。

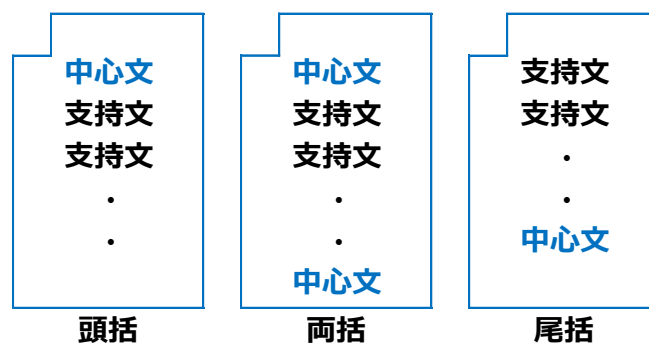


図1 パラグラフの構成



パラグラフの最初は
全角で1文字下げて書こう！

②パラグラフを積み重ねて文章にする

文章は、各パラグラフの中心文を繋げると文章全体の要旨になるように書く。中心文が前後のパラグラフの中心文と論理的に結びつくようにパラグラフを積み重ねる。

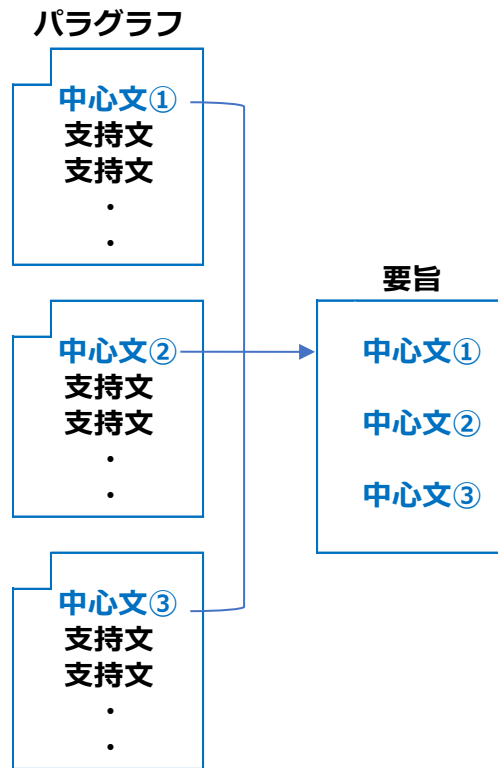


図2 パラグラフの積み重ねイメージ

パラグラフの構成例

パラグラフの構成の手順について、以下の例文¹を修正しながら説明していく。この例文は、パラグラフ・ライティングに沿って書かれていないため、何を言いたいのか (main topic) がはっきりしない。説明の便宜上、文に①から⑦と番号を振ってある。

①スルメイカの一生は旅に始まり旅に終わることができる。②ところで旅をするといえば、ウナギもまた一生をかけて長い旅をする生物である。③ウナギはまず海で生まれ、海流に乗って流されながら成長し、川を目指す。④スルメイカは冬に九州の南の海で生まれる。⑤春になると、スルメイカは日本海と太平洋を北上し始める。⑥夏を迎えると、スルメイカは北海道周辺で U ターンをし、今度は再び南へと向かう。⑦そして冬頃、スルメイカは自分の生まれた南の海に戻って一生を終える。

¹ 2019年度の中央大学ライティング・ラボ主催のワークショップで使用した作例

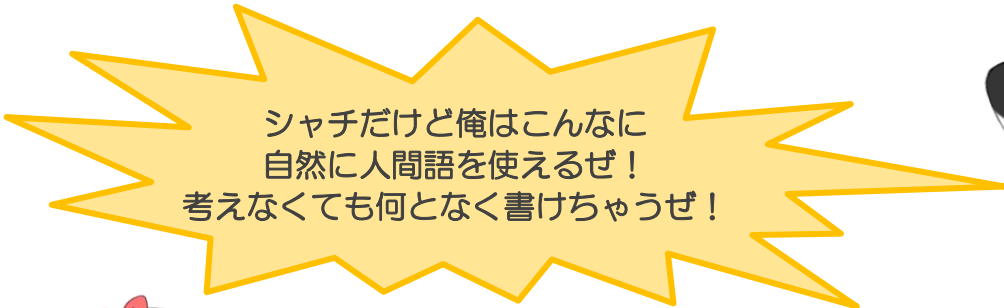
まず、パラグラフの**中心文を、パラグラフの最初に置く**。このパラグラフの話題は、スルメイカの一生である。「①スルメイカの一生は旅に始まり旅に終わると言うことができる。」という 1 文が中心文である。

次に、**中心文に合わせて支持文を書く**。中心文はスルメイカの一生に関する文であるため、②と③のウナギに関する文はこのパラグラフにそぐわない。そのため、この 2 文を削除する。

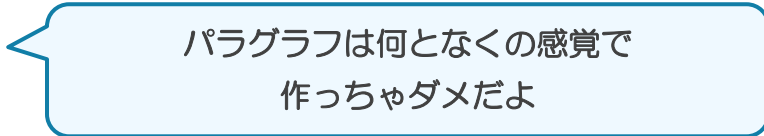
最後に、支持文について、中心文の具体例や根拠など**過不足なく書けているか**を確認する。この例文においては④から⑦においてスルメイカの一生を過不足なく書くことができていることを確認できる。

この手順で例文を修正したものが以下の文章である。

①スルメイカの一生は旅に始まり旅に終わると言うことができる。②スルメイカは冬に九州の南の海で生まれる。③春になると、スルメイカは日本海と太平洋を北上し始める。④夏を迎えると、スルメイカは北海道周辺で U ターンをし、今度は再び南へと向かう。⑤そして冬頃、スルメイカは自分の生まれた南の海に戻って一生を終える。



シャチだけど俺はこんなに自然に人間語を使えるぜ！
考えなくても何となく書けちゃうぜ！



パラグラフは何となくの感覚で作っちゃダメだよ

◇さらに知りたい読者のために

石井一成 (2011). 『ゼロからわかる 大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社.

井下千以子 (2019). 『思考を鍛えるレポート・論文作成法 [第3版]』慶應義塾大学出版会.

ケリー伊藤 (2002). 『英語パラグラフ・ライティング講座』研究社.

近藤裕子・由井恭子・春日美穂 (2019). 『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』ひつじ書房.

佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄編著 (2015). 『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイドー大学生・大学院生のための自己点検法 29ー』大修館書店.

戸田山和久 (2022). 『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK 出版.

4. 引用のマナー

□ 引用とは

引用とは「誰かがすでに話したり書いたりしたことばを、二次的利用であることを明示しつつ、形態・内容ともできるかぎり忠実に再現したもの」(石黒、2011、p.294)である。

参照した文章をそのまま自分の文章に取り入れるのが「直接引用」、要約して自分の文章に取り入れるのが「間接引用」である。どの引用方法であっても参考文献リストは必須である。以下、それぞれの引用方法を㉞㉟㊱と表記し、具体的な手法や作成例を見ていく。

<直接引用>

- ㉞ 1～2行程度の短い文章を自分の文章に取り入れる。
- ㉟ 3行以上の文章をそのまま自分の文章に取り入れる。(ブロック引用)

<間接引用>

- ㊱ 長い文章を要約し、自分の文章に取り入れる。

□ 引用のマナーを守らなければならない理由

引用のマナーを守らないと、剽窃とみなされる。引用のマナーを守る理由は、

- ①他者の意見を著者や出所を挙げて示し、尊重して扱う (**知的所有権を守る**) ため。
- ②他者の意見と**自分の意見の区別を明瞭にする**ため。

□ 出典の示し方

出典の示し方には「著者年方式」と「脚注方式」がある。

<著者年方式>

本文中で出典(著者名、発行年、引用ページ)を示す。その際、() を用いて表記する。本文の後ろに「参考文献リスト」をつけ、出典の詳細を示す。

<脚注方式>

文中の該当箇所に注番号を振り、注で出典(著者名、発行年、引用ページ)を示す。本文の後ろに「参考文献リスト」をつけ、出典の詳細を示す。「脚注」は各ページの下につける形式と、本文の終わりにまとめてつける形式がある。Word などのワープロソフトには脚注機能があり、自動的に数字を振ってくれるので活用するとよい。なお、脚注の数字表記は、(1)、(2)、(3)、[1]、[2]、[3]、1、2、3 など、書式によって異なる場合がある。

□㉔と㉕の引用の方法

- ①引用箇所は自分の主張したいことと関係のある箇所を過不足のないように選ぶ。
- ②直接引用の場合、句読点を含む一言一句を全て書き写し、「 」(引用符)で括る。
- ③間接引用の場合、必要な箇所を要約する。
- ④出典と引用ページを示す。

㉔の引用と㉕の引用の作成例 (著者年方式)

㉔直接引用

航空機の生産を取りまとめる完成機メーカーは、航空機産業のものづくりにおいて重要な立役者である。完成機メーカーとそこで控える数多くのサプライヤーの関係性は、上で設計を行った後、下請けに発注を行うだけといった垂直的な関係性ではない。

渋谷 (2020) によると、完成機メーカーは「プレイヤーを取りまとめていく、いわば大規模な大工仕事における棟梁のような、全体を差配して、隅々まで目を配り、長期間にわたる複雑なプロジェクトをうまく進めていく」(p.4) 役割であると定義されている。

アメリカやフランスには、ボーイングやエアバスなどの完成機メーカーの拠点が立地している。さらに、シアトルやトゥールーズといった航空機産業クラスターでは、内陸部の工場へサプライヤーから直接機体部品の輸送を可能とする空港が隣接している。そのため、空港は最終組み立て直前の工程において、海外のサプライヤーからの部品供給という重要な役割を果たす。

㉕間接引用

一方、完成機メーカーが存在しない日本の航空機産業では、部品供給は B787 機体部品の一部を除き大部分を海上輸送に頼り、未だ航空機部品における航空輸送の利用は少ない(合田, 2009; 山本, 2016, p.60)。 日本航空宇宙工業会によると、2019 年度の航空機部品の海上輸送比率は全体で約 85%を占めている(日本航空宇宙工業会, 2019)。

以上を踏まえると、日本の航空機産業の部品輸送において航空輸送が少ない要因は、航空機産業におけるサプライヤーとしての地位が根付いてしまっていることが考えられる。

引用した文献は本文の後ろの「参考文献リスト」にまとめる

参考文献

著者名、出版年、書名、出版社以外に、論文などでは引用したページ数も記す

合田昭二 (2009). 『大企業の空間構造』原書房.

渋谷容 (2020). 『日本の航空産業』中央公論新社.

日本航空宇宙工業会 (2019). 「航空宇宙産業データベース 令和元年 7 月」最終閲覧日 2020 年 5 月 12 日, https://www.sjac.or.jp/common/pdf/toukei/7_database_2019.07.pdf/

山本匡毅 (2016). 「民間航空機産業の取引変化とクラスター形成—中部圏を事例として—」『産業学会研究年報』, 2016(31), 55-65. <https://doi.org/10.11444/sisj.2016.55>

※二重下線はどこが引用箇所かをわかりやすく示すために引いている。本来は必要ないので注意。

㊦の引用と㊧の引用の作成例 (脚注方式)

㊦直接引用

航空機の生産を取りまとめる完成機メーカーは、航空機産業のものづくりにおいて重要な立役者である。完成機メーカーとその下で控える数多くのサプライヤーの関係性は、上で設計を行った後、下請けに発注を行うだけといった垂直的な関係性ではない。

完成機メーカーには、「プレイヤーを取りまとめていく、いわば大規模な大工仕事における棟梁のような、全体を差配して、隅々まで目を配り、長期間にわたる複雑なプロジェクトをうまく進めていく」¹役割である必要がある。

アメリカやフランスには、ボーイングやエアバスなどの完成機メーカーの拠点が立地している。さらに、シアトルやトゥールーズといった航空機産業クラスターでは、内陸部の工場へサプライヤーから直接機体部品の輸送を可能とする空港が隣接している。そのため、空港は最終組み立て直前の工程において、海外のサプライヤーからの部品供給という重要な役割を果たす。

一方、完成機メーカーが存在しない日本の航空機産業では、部品供給は B787 機体部品の一部を除き大部分を海上輸送に頼り、未だ航空機部品における航空輸送の利用は少ない²。日本航空宇宙工業会によると、2019 年度の航空機部品の海上輸送比率は全体で約 85%を占めている³。

以上を踏まえると、日本の航空機産業の部品輸送において航空輸送利用が少ない要因は、日本の航空機産業におけるサプライヤーとしての地位が根付いてしまっていることが考えられる。

引用した文献は本文の後ろの「参考文献リスト」にまとめる

参考文献

著者名、出版年、書名、出版社以外に、論文などでは引用したページ数も記す

合田昭二 (2009). 『大企業の空間構造』原書房.

渋武容 (2020). 『日本の航空産業』中央公論新社.

日本航空宇宙工業会 (2019). 「航空宇宙産業データベース 令和元年 7 月」最終閲覧日 2020 年 5 月 12 日, https://www.sjac.or.jp/common/pdf/toukei/7_database_2019.07.pdf/

山本匡毅 (2016). 「民間航空機産業の取引変化とクラスター形成—中部圏を事例として—」『産業学会研究年報』, 2016(31), 55-65. <https://doi.org/10.11444/sisj.2016.55>

¹ 渋武、2020、p.4

² 合田、2009 ; 山本、2016、p.60

³ 日本航空宇宙工業会、2019

※二重下線はどこが引用箇所かをわかりやすく示すために引いている。本来は必要ないので注意。

㊦の引用（ブロック引用）の方法

- ①引用箇所は自分の主張したいことと関係のある箇所を過不足のないように選ぶ。
- ②引用前には誰が述べているのか、なぜ引用するのかを予告する文を入れる。
- ③句読点を含む一言一句を全て書き写す。
- ④引用した箇所は左側を3文字空け、かつ本文との間を1行ずつ空ける。
- ⑤出典と引用ページを示す。
- ⑥引用後は、引用部分の要点と自分の主張との関係について言及する。

㊦の引用（ブロック引用）の作成例（著者年方式）

世界的にみた航空機産業は、アメリカのボーイング社や欧州のエアバス社といった完成機を製造する2大企業の寡占状態である。しかし、新機種の設計・開発となると巨額の費用と膨大な時間を要するため、たとえ巨大な企業でも一社単独でそれらすべての工程を完結させることは不可能である。このような産業構造に関して、渋谷（2020）は以下のような見解を示している。

予告文を入れる

㊦ブロック引用

⇕ 1行空ける

⇕

3文字空ける

完成機メーカーは、全体を仕切り、どのような機体が市場に求められ、具体的な機能・性能をどうするかを煮詰め、設計し、サプライヤー（装備品や部品のメーカー）をコントロールしながら一つの機体として仕上げていく。（中略）単に「完成機メーカーは設計を行って発注する、サプライヤーは下請けだ」ということではなく、これらのプレイヤーを取りまとめていく、いわば大規模な大工仕事における棟梁のような、全体を差配して、隔々まで目を配り、長期間にわたる複雑なプロジェクトをうまく進めていくことが、完成機メーカーには必要になる。(p.4)

⇕ 1行空ける

まず、引用した文の
ポイントを示す

引用ページ

上記のように、渋谷は完成機メーカーの本来の役割に焦点を当て、完成機メーカーとサプライヤーの立ち位置について客観的な見方を示し、完成機メーカーの役割の大きさに言及している。国際的な連関を要する航空機産業は、一見すると上下関係のはっきりとした支配的な産業構造に捉えられることが多いが、階層ごとにそれぞれが分担した役割を担っているという捉え方もできる。

以上より、航空機産業は支配的な産業構造であるといわれる反面、生産工程全体を取りまとめるという他の企業ではなし得ない、唯一無二の重要な役割を担っていると考えられる。

次に、自分の主張につなげる

ブロック引用後の文章は1字下げをせず、同一パラグラフとして扱う

参考文献

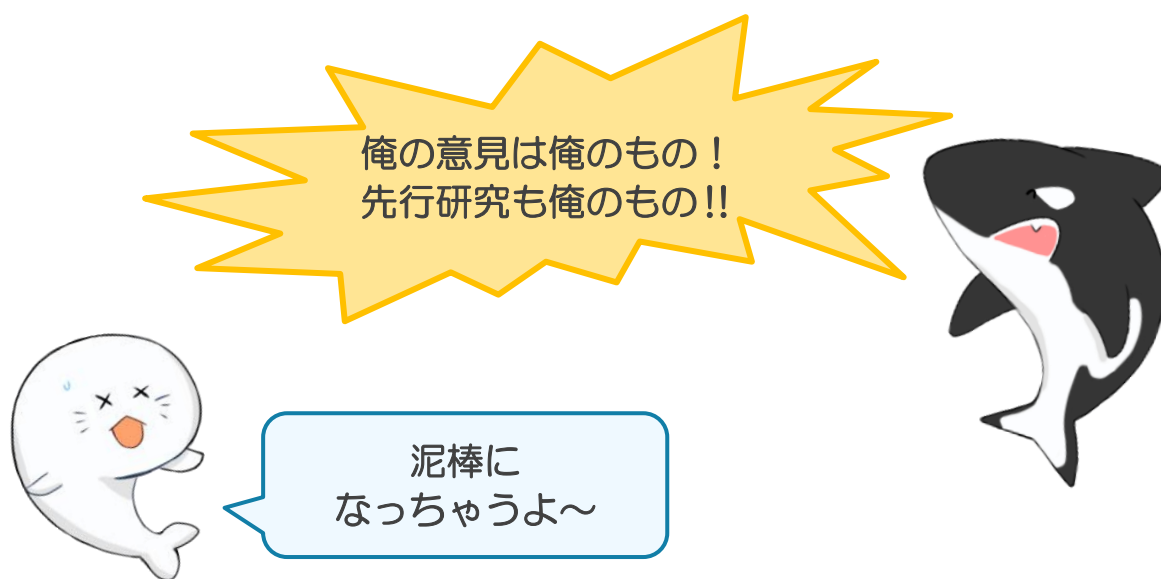
引用した文献は本文の後ろの「参考文献リスト」にまとめる

渋谷容 (2020). 『日本の航空産業』中央公論新社.

著者名、出版年、書名、出版社以外に、論文などでは引用したページ数も記す

<補足事項>

- ①引用箇所**に強調したい部分がある場合には、その場所に下線を引き最後に(下線は筆者)と入れる。**
- ②引用箇所の中で、自分の主張と関係の無い場所は(中略)や{…}と入れることで省略が可能となる。
- ③まれに引用元の文章に誤りが見受けられる場合があるが、その場所にルビで「ママ」と入れることで、引用元からそのまま引用していることを示すことができる。



◇参考文献

石黒圭 (2011). 「引用の種類と作法」中村明・佐久間まゆみ・高崎みどり・十重田裕一・半沢幹一・宗像和重編『日本語文章・文体・表現事典』(pp.294-296), 朝倉書店.

◇さらに知りたい読者のために

石黒圭 (2009). 『よくわかる文章表現の技術Ⅲ—文法編— 3版』明治書院.

石黒圭 (2024). 『この1冊できちんと書ける! 【新版】論文・レポートの基本』日本実業出版社.

大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014). 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 [第2版] プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房.

小笠原喜康 (2018). 『最新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社.

佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄編著 (2015). 『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド—大学生・大学院生のための自己点検法 29—』大修館書店.

都筑学 (2016). 『大学1年生のための伝わるレポートの書き方』有斐閣.

戸田山和久 (2023). 『最新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK 出版.

5. 図表の扱い方

□図表とは

図表とは必要な情報が一目でわかり、文章の補足的な役割を果たしてくれるものである。絵や写真も図に該当する。図表は正確に、またそれだけを見てわかるように作ることが重要である。

□図表を使う理由

データや統計から得た数値やイメージを文章で記すだけでは、それが何を表しているのかを読み手が理解しづらいこともある。そこで、一目で見て何を示しているのかをわかりやすくするために用いるのが図表である。

□図表挿入の手順

①図表が何を示しているのか「予告」と「説明」を入れる。

一般的には、予告は図表の前に、説明は図表の後に挿入する。ただし、説明は図表の前に挿入される場合もある。

②図表を挿入して、「通し番号とタイトル」をつける。

図は図ごとに、表は表ごとに通し番号をつける（図 1、図 2、…表 1、表 2、…）。文章や図表の量が多い場合は、「章番号 - 図表番号」というつけ方が推奨される。例えば、第 3 章の中で 4 番目に挿入した図の場合は「図 3-4」となる。タイトルは、図表の内容を端的に表現する。

③図表の出典を示す。

図表を引用した場合及びデータを引用して自身で図表を作成した場合は、図表の下に「出典」を示す。別途補足を加える必要があれば、「注」も加える。

④図表を提示した後で、「自分の分析や解釈」などを述べる。

図表における着目点（読み手に注目してほしい部分）について簡潔に説明する。そのうえで、その内容から読み取れる解釈や分析結果に関する書き手の主張を述べる。

基本的に図の通し番号とタイトルは図の「下」
表の通し番号とタイトルは表の「上」に示すよ

ただし、APA スタイルの最新版で図表どちらも
通し番号とタイトルを「上」に付けると
表記方法が改定されたよ
自分の投稿先や所属先の示し方について
よく確認しておこう！



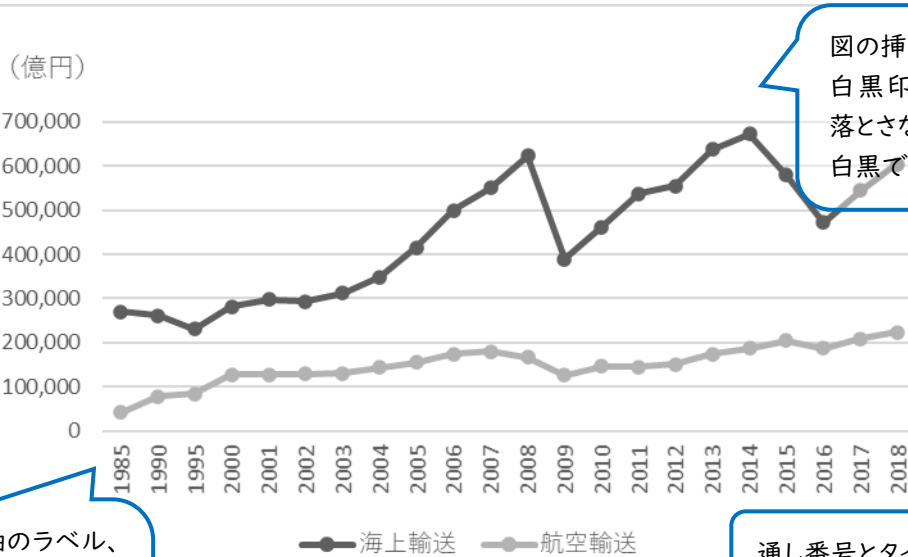
図の挿入例

「予告→図の挿入→図の内容説明→自分の分析や解釈」という流れを意識する。

航空貨物便を利用した輸送方法は、年々その貿易金額を伸ばし続けている。図2は、輸送機関別の貿易額の推移を示したものである。

↑ ↓ | 行空けると視覚的に読みやすい

図の予告をする



図の挿入
白黒印刷でも視認性を落とさないようにするため白黒で作成するとよい

グラフの場合、軸のラベル、数値の単位など必要な情報を忘れずに記入する
数値の示し方(カンマなど)は統一する

通し番号とタイトルを図の下に記す

図2 輸送機関別の貿易額の推移 (輸入・輸出)
出典：国土交通省港湾局 (2019) より著者作成

↑ ↓ | 行空けると視覚的に読みやすい

図の説明をする

海上輸送の輸入額は、34年間で約1.5倍の増加となっている。同様に、航空輸送においても増加率は約5.5倍にも及び海上輸送の伸びを圧倒する。目下、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響で航空産業は大打撃を受けている。人の輸送で収益を確保することが難しい状況では、貨物の輸送を増やしていかなければ経営が立ち行かない。ゆえに、航空輸送における貿易額の増加率はさらに上昇すると考えられる。

自分の分析や解釈などを述べる

参考文献

国土交通省港湾局 (2019). 『2019年度版 数字で見る港湾』日本港湾協会.

表の挿入例

「予告→表の挿入→表の内容説明→自分の分析や解釈」という流れを意識する。

ドイツでは世界中で広く採用されている法的分離ではなく、所有権分離の電力体制を採用している企業が多い。表 1-1 は、EU の送電分離の形態を示している。

通し番号とタイトルを表の上に記す



1 行空けると視覚的に読みやすい

表の予告をする

表 1-1 EU の送電分離の形態

所有権分離		法的分離	
国	送電事業者名	国	送電事業者名
イギリス	National Grid NGET	フランス	RTE EDF Transport
ドイツ	50Hertz,TenneT	ドイツ	Amprion,TransnetBW
イタリア	Terna	オーストリア	Austrian Power Grid
スペイン	REE	ギリシャ	Admine
ベルギー	Elia	イギリス	SHETL,SPTL

表の挿入

白黒印刷でも視認性を落とさないようにするため白黒で作成するとよい

出典：電力中央研究所（2013）より著者作成。

注：イギリスの所有権分離の実施地域はイングランド・

ウェールズ地方、法的分離の実施地域はスコットランド地方。

表の説明をする



1 行空けると視覚的に読みやすい

EU では 15 か国が所有権分離を行っているが、表 1-1 で示したように実際には法的分離と所有権分離を採用している企業の割合は半々といったところである。しかし、今後は再生可能エネルギーの普及に伴って、様々な業種・業態の企業が電力市場に参入することが見込まれる。競争が激しくなればなるほど、事業売買や統廃合をしやすい所有権分離が主流になっていくであろう。

参考文献

自分の分析や解釈などを述べる

電力中央研究所（2013）. 『電気事業の仕組みを読み解く』 東北エネルギー懇談会.



シャチ（鯨、学名: *Orcinus orca*）は、哺乳綱鯨偶蹄目マイルカ科シャチ属の海獣だ。特徴は、背面は黒、腹面は白、両目の上方にアイパッチと呼ばれる白い模様があるぜ（※Wikipedia 参照）。



シャチ（学名: *Orcinus orca*）は、海棲哺乳類で鯨偶蹄目マイルカ科シャチ属である。その特徴を絵に示した(図 1)。背面は黒、腹面は白色である。両目の上の後部に白いパッチがある。



参考：国立科学博物館「海棲哺乳類図鑑」

図 1：シャチのイラスト

https://www.kahaku.go.jp/research/db/zoology/marmam/pictorial_book/o_orca.html



図表を効果的に使うことで自分の言いたいことが相手に伝わりやすくなるよ！

◇さらに知りたい読者のために

大峰光博・奥本正編 (2021). 『大学 1 年生のためのレポート・論文作成法 第 2 版—書く意義に気づく 15 回のライティング講義—』ふくろう出版.

近藤裕子・由井恭子・春日美穂 (2019). 『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』ひつじ書房.

阪田せい子・ロイラーク (1998). 『だれも教えなかった論文・レポートの書き方』綜合法令出版.

白井利明・高橋一郎 (2013). 『よくわかる卒論の書き方 [第 2 版]』ミネルヴァ書房.

浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 (1997). 『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版.

6. 一文一義

□「一文一義」とは何か

一文の中に一つの事柄だけを書くことを「一文一義」(One sentence, one idea) という。次の2つの例文を読んでみよう。

《例文1》

人とコミュニケーションを取ることの難しいと考えられる点として、相手を和ますつもりで冗談を言ったのが、相手にふざけていると捉えられて怒らせてしまうなど、相手に自分の意図していたことがうまく伝わらず、誤解されてしまうことがコミュニケーションを取ることの難しい点である。

《例文2》

人とコミュニケーションを取ることの難しい点として、相手に誤解されてしまうことが挙げられる。自分の意図を相手にうまく伝えられず、トラブルの元になることがある。例えば、相手を和ませるつもりで冗談を言ったものの、相手にふざけていると捉えられ怒らせてしまう場合が考えられる。

《例文1》は、長い一文のなかに複数の事柄が混ざっていて、それぞれの内容も整理されていない。このような一文多義の文では、書き手が結局何を伝えたいのかが理解しにくく、一文の情報量も多いため読みにくい。

《例文2》は、伝えたい内容を整理したうえで、1つの文の中で1つの事柄に絞って書いている。その結果、それぞれの文で伝えたい内容を読み手は順番に理解しながら読み進めることができる。

第1文：コミュニケーションで難しい点は相手に誤解されることである。

第2文：自身の意図が相手に伝わらないことがトラブルの元になる。

第3文：冗談で相手を怒らせる場合がある。

□「一文一義」で書く理由

一文一義の最大の効果は、読み手にとって読みやすく、理解しやすい文章になることである。また、書き手にとっても次のようなメリットがある。

- ①言いたいことが整理できる。
- ②情報の過不足に気づきやすくなる。
- ③主語と述語の関係が明確になる。
- ④前後の文とのつながりを意識しやすくなる。
- ⑤文章の修正がしやすくなる。



別に俺はできないわけじゃないけど最近あったかくなって眠いしめんどくさいからレポートやりたくないとかいろいろ他にやりたいこともあるし本気出せば速攻で終わるからサボりたいとかちょっとお腹が空いたからなん
というか…

で、結局何が言いたいの？



□「一文一義」に直す方法

①書かれている内容を整理する。

内容を整理して、「1つの事柄」に当てはまる箇所で文を区切ってみる。

人とコミュニケーションを取ることの難しいと考えられる点として、相手に和ませつもりで冗談を言ったのが、相手にふざけていると捉えられて怒らせてしまうなど、相手に自分の意図していたことがうまく伝わらず、誤解されてしまうことがコミュニケーションを取ることの難しい点である。

1つの事柄で区切る

②区切った箇所の内容ごとに文の表現を整えていく。

(1) 重複する内容や表現を整理する。

- 人とコミュニケーションを取ることの難しいと考えられる点として、
- 誤解されてしまうことがコミュニケーションを取ることの難しい点である。



- 人とコミュニケーションを取ることの難しい点として、相手に誤解されてしまうことが挙げられる。

(2) 主語と述語を対応させる。

- 相手を和ますつもりで冗談を言ったのが、相手にふざけていると捉えられて怒らせてしまうなど



- 相手を和ませるつもりで冗談を言ったものの、相手にふざけていると捉えられ怒らせてしまう場合が考えられる。

(3) 不足している情報を追加したり、余計な情報を削除したりする。

- 相手に自分の意図していたことがうまく伝わらず、



- 自分の意図が相手にうまく伝わらず、トラブルの元になることがある。

(4) 必要があれば、接続詞などを加えて前後の文のつながりを明確にする。

人とコミュニケーションを取ることの難しい点として、相手に誤解されてしまうことが挙げられる。自分の意図を相手にうまく伝えられず、トラブルの元になることがある。例えば、相手を和ませるつもりで冗談を言ったものの、相手にふざけていると捉えられ怒らせてしまう場合が考えられる。



モチベーションが
上がらないぜ！

だからレポート
やりたくないぜ！

すっきりしてわかりやすくなったね



うん、まあやろうね

はい

◇さらに知りたい読者のために

宇佐美寛 (1998). 『作文の論理—<わかる文章>の仕組み—』 東信堂.

佐渡島紗織・吉野亜矢子 (2021). 『これから研究を書く人のためのガイドブック [第2版]』 ひつじ書房.

酒井聡樹 (2007). 『これからレポート・卒論を書く若者のために』 共立出版.

7. 感想文からの脱却

□レポートと感想文の違い

感想文とは、その名のとおり、何かに対する感想をつづったものであり、一般的に個人の感情や主観などを書くことになる。一方、大学のレポートを含む学術的文章を書く時はある事柄（テーマ）に関する**書き手の意見や主張を論理的に述べる**必要がある。

レポートの文章がまるで感想文ようになってしまうのにはいくつかの理由が考えられるが、その代表的な問題の一つが「私語り」である。私語りについて佐渡島・吉野（2021）は「書き手自身の考えのプロセスを説明したり、根拠のはっきりしない推測を表現したりすること」（p.95）と紹介している。

例えば、次のような書き方が「私語り」である。

①書き手の思考のプロセスを説明している。

（例）「大学の講義で、・・・について聞いたことがある。」

「図書館で調べてみたところ、・・・ことが分かった。」

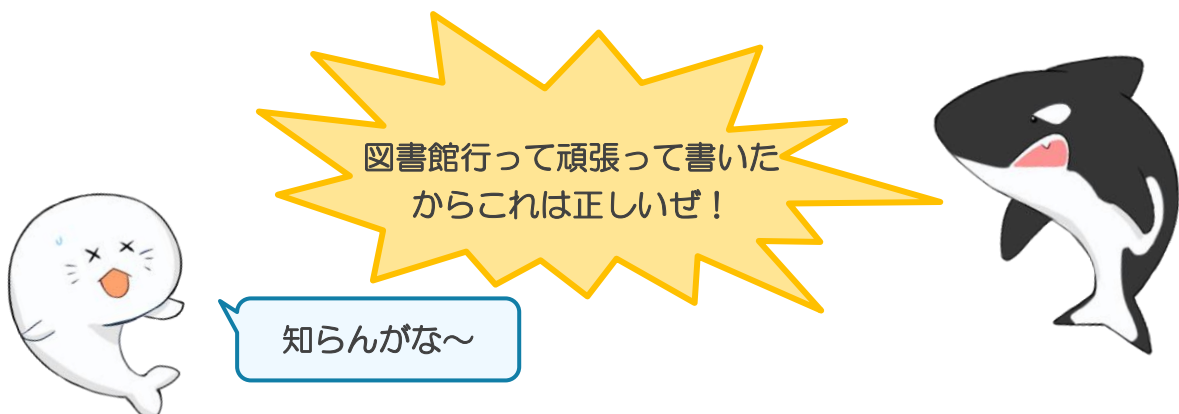
②データや資料などの根拠を明確に示さずに推測で書いている。

（例）「女子学生より男子学生のほうが部活に時間を使っているようである。」

「最近の大学生は昔に比べて学力の低下が著しいらしい。」

□学術的文章で「私語り」がだめな理由

レポートや論文は、**第三者が読んでも同じ考えに至るような、読みやすく説得力のあるもの**にしなければならない。書き手の思考のプロセスに関する説明は、書き手が思考した内容を理解するうえで余計な情報である。また、データや資料などの根拠を示さずに思考を述べると、読み手は単なる印象や推測として認識し、説得力が乏しくなってしまう。



□「私語り」にならないように

次の例文を見てみよう。

大学の講義で、心理学には大学生に見られる慢性的な無気力状態を指すスチューデント・アパシーという用語があると教授が仰っていた。図書館で調べてみたところ、スチューデント・アパシーとは、元々「良い子」とされていた主に男子大学生が、学業に対して選択的に無気力になる状態を指していることが分かった。スチューデント・アパシーに陥ると、本業である学習等に対して無気力になるため、留年を繰り返し、最終的に退学してしまう者もいるらしい。大学生の学業への慢性的な無気力状態は即刻解決すべき重要な問題である。

この文章は、今のままでは学術的文章として不適切である。なぜなら、「私語り」が数多く含まれているからである。では、「私語り」にならないためにはどうすればよいか。以下の2つを意識し、実践することである。

- ①書き手の思考のプロセスが書かれている部分を削除する。
- ②印象や推測で述べることを避け、根拠を明確に示す。

「私語り」を削って感想文から脱却してみよう！

大学の講義で、心理学には大学生に見られる慢性的な無気力状態を指すスチューデント・アパシーという用語があると教授が仰っていた。図書館で調べてみたところ、スチューデント・アパシーとは、元々「良い子」とされていた主に男子大学生が、学業に対して選択的に無気力になる状態を指していることが分かった。スチューデント・アパシーに陥ると、本業である学習等に対して無気力になるため、留年を繰り返し、最終的に退学してしまう者もいるらしい。大学生の学業への慢性的な無気力状態は即刻解決すべき重要な問題である。

まず、書き手の思考のプロセスが書かれている部分を削除してみよう。上記の文章では青字部分が書き手の思考のプロセスを書いている箇所である。書き手がいつ、どこで大学生の無気力に関する情報を得たのかが述べられているが、学術的文章の読み手にとっては余計な情報となる。すべて削除すれば、思考の内容である文章の論点がより明確になる。

次に、印象や推測で述べることを避け、根拠を明確に示していく。下線を引いた最後の文章以外は、書き手の思考ではない。そのため、いつごろから大学生の慢性的な無気力状態が問題視されはじめたのか、スチューデント・アパシーとは何か、スチューデント・アパシーに陥るとどうなるのかなどに関する正確な情報と、情報の出所を明らかにして述べていく。その際、文章の最後に文献リストを載せるのを忘れないようにする（引用のマナーについては本資料4章を参照のこと）。

以上のような方法と手順で修正してみると、次のような改善例が考えられる。

日本では1970年前後から、大学生に見られる慢性的な無気力状態が問題視され、スチューデント・アパシーと呼ばれるようになった(笠原、1977)。笠原(1984)によると、スチューデント・アパシーとは、いわゆる「良い子」であった主に男子大学生が、学業に対して選択的に無気力になる状態を指す。スチューデント・アパシーに陥ると、本業である学習等に対して無気力になるため、留年を繰り返し、最終的に退学してしまう者もいる(土川、1990)。大学生の学業への慢性的な無気力状態は即刻解決すべき重要な問題である。

参考文献

- 笠原嘉 (1977). 『青年期—精神病理学から—』中央公論新社.
笠原嘉 (1984). 『アパシー・シンドローム—高学歴社会の青年心理—』岩波書店.
土川隆史編 (1990). 『スチューデント・アパシー』同朋舎.

「私語り」が多く含まれていた最初の文章と比べると、書き手の主張と根拠が論理的かつ明確に書かれていることがわかる。このように感想文から脱却することで、論点がより伝わりやすく、評価される学術的文章に仕上げられるのである。

◇参考文献

佐渡島紗織・吉野亜矢子 (2021). 『これから研究を書く人のためのガイドブック [第2版]』ひつじ書房.

◇さらに知りたい読者のために

大出敦 (2015). 『アカデミックスキルズ—クリティカル・リーディング入門—人文系のための読書レッスン—』慶應義塾大学出版.
都筑学 (2006). 『心理学論文の書き方—おいしい論文のレシピ—』有斐閣アルマ.



いざ書こう!となると
やっぱりちょっと不安
だな...

テーマが決まらないし...
実際書き始めても
うまくまとまらないし...

そんな時は
ライティング・ラボを
利用しよう!
院生のチューターさんが一緒
に文章を検討してくれるよ!



◆アクセス <多摩キャンパス MAP>



ホームページ

検索 中央大学 ASC ライティング・ラボ

<https://sites.google.com/view/chuo-writinglab/>

モノレールを出て右手
にある建物だよ!



詳しい利用方法・開室日時
はホームページを確認し
てね~

X (旧 Twitter) も随時
更新中だぞ!
ワークショップも定期
開催しているからチェ
ックしてくれよな!



ライティング・ラボ
公式 X (旧 Twitter)



@chuo_writinglab

セッションの予約状況や
イベント情報などをお知らせします。

中央大学ライティング・ラボ (2023&2024)

◇部門長：尹 智鉉

◇スーパーバイザー：中野 玲子

◇アシスタントスーパーバイザー：松井 雄志

◇アソシエイトスーパーバイザー：林 雅子

◇シニアチューター（五十音順）：池内 陸・越智 隆太・黒須 万貴子・黒田 将司・中尾 友香・
橋口 龍也

◇チューター（五十音順）：宇田川 恵・加藤 麟・倉金 宙本・佐久間 貴大・白木 啓吾・
田井 康平・田中 眞生・西脇 祐・朴 シウン・茂木 睦生

*2024.3 卒業のチューターを含む



表紙・本文デザイン、イラスト：林 雅子